

敬老の日 今年も千二百人余

昨年からの国民の祝日となった九月十五日の「敬老の日」がまいる

なお、村内での最年長者は明治三年五月三日生れ九十七才の岩本

役場では、このほど衛生台帳などをもちて七十才以上の方を調査

多めにわたって社会の発展に寄与してきた者として敬愛

老人と人権

— 法務省 —

老人は、多年にわたって社会の発展に寄与してきた者として敬愛され、かつ健全で安らかな生活を保障されなければなりません。

そのおまね原因としては、老令に伴う身体的、精神的障害、家族構成員の分化、老人人口の増加、老人をとりまく社会環境の複雑化

老人の権利が守られているかどうかを、法務省管下の人権擁護機関（人権擁護委員、法務局、地方自治

老人の権利に関する右のような事例は米山の一角にすぎません。家庭の内外を問わず、まだまだ

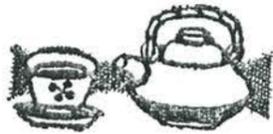
の理念とする基本的人権の尊重および老人福祉法の目的にそって、老人に対する個々の人権侵害事件

秋の七草。秋の七草は時代によってかわっています。現在では、はぎ、おばな、くずの花、なでしこ、おみなえし、ふじばかま、ききょうの七草。江戸時代では、ききょうがなくて、あさがお、万葉時代はききょう、あさがおともになく、朝顔の花とって何の花か不明なものがあります。

館報大豊

年別老人数の推移

年	924人
32年	1,099
33年	1,114
34年	1,062
35年	1,091
36年	1,054
37年	1,073
38年	1,116
39年	1,148
40年	1,210
41年	1,268
42年	1,268



これは、若年層の村外流出とも関係がありましようが、総じて平均寿命が延びてきたことを示しており、喜ばしいことです。



「敬老の日」を迎えるにあたり、みなでつくろう。楽しい。老後。

無煙化とは、煤煙を吐く列車をなくすることです。この蒸気列車は明治時代から今日まで長く馴染まれてきましたが、スピードが

四国鉄道の近代化—無煙化—。この無煙化による四国鉄道の近代化は、四国経済の今後の発展のために大きく役立つことでは

万国博覧会見物客のために、郵便局の旅行貯金を。万国博覧会見物客のために、郵便局で旅行貯金を

(二) 昭和42年9月17日

70才以上部落別数

男			女			計		
川	6	14	20	7	5	12		
家	10	7	17	3	2	20		
須	6	2	8	7	13	25		
浦	8	12	20	13	11	24		
上	7	9	16	8	9	17		
下	8	6	14	2	2	4		
原	13	13	26	15	16	31		
南	14	11	25	6	11	17		
生	5	3	8	9	12	21		
岩	1	1	2	8	6	14		
一	5	4	9	7	7	14		
内	4	7	11	9	8	17		
一	2	2	4	25	22	47		
二	7	6	13	10	5	15		
三	10	8	18	7	7	14		
田	3	5	8	11	10	22		
付	5	2	7	2	2	4		
谷	6	6	12	2	2	4		
生	8	14	22	3	9	12		
一	1	4	5	12	8	20		
二	3	7	10	9	7	16		
口	10	9	19	7	1	8		
落	9	8	17	1	2	3		
谷	8	15	23	1	5	6		
一	10	9	19	1	17	18		
三	9	8	17	14	7	21		
中	12	4	16	7	9	16		
刈	6	9	15	12	2	14		
内	3	7	10	2	0	2		
居	9	4	13	1	10	11		
山	4	6	10	3	3	6		
東	0	3	3	8	10	18		
屋	4	4	8	6	5	11		
石	10	4	14	3	8	11		
谷	7	10	17	5	4	9		
戸	4	12	16	4	9	13		
口	2	6	8	15	9	24		
堂	4	1	5	10	15	25		
内	8	8	16	16	11	27		
内	3	5	8	11	6	17		
野	9	11	20	8	3	11		
内	1	7	8	5	3	8		
野	6	2	8	11	7	18		
内	1	7	8	6	3	9		
保	7	2	9	4	6	10		
久	7	7	14	3	3	6		
合	14	14	28	620	648	1,268		

三) × ×

勝 × ×



初出荷

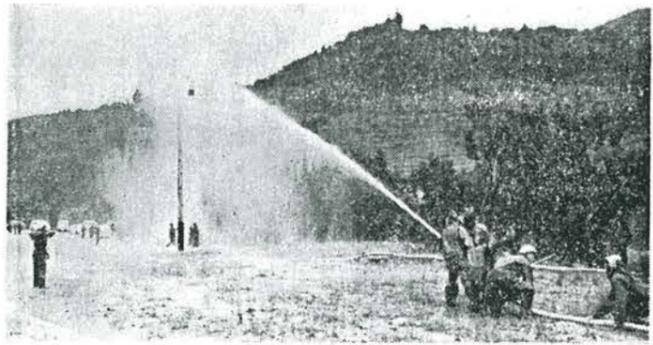
第二十二回

本年度春期の定期検診も八月末をもって終了しました。村民の皆さま

67 42 37 16 72 35 115 109 58 64

676 人 57 74 40 71 89 107 27 465 4,042

雨中の消防演習
舟戸が三連勝



本年度の大豊村消防演習
大会は八月十三日に杉の中
州グラウンドで行なわれま
した。最初は中学校前の川
原で行なう予定で地元消防
団が準備万端をととのえて
いました。前日の雨で川水
が急増したため試合が不能になり
にわかにグラウンドへ変更しまし
た。しかし、前日に続いて時おり
強い風をともなう雨が断続的に降
り、極めて悪い状態でしたが、そ
れでも全員雨カッパに身をつつみ
恒例の板返り競技に終始熱戦を展
開しました。
その結果、A組では舟戸が一位
(三年連続)、二位大田口、三位
杉。B組は川戸が優勝しました。
閉会式の時、さしもの雨も止

み恒例の表彰が次のとおり行な
れました。
消防庁表彰
大豊村消防団長 森下 勇
高知県消防協会表彰
辛頭 大豊村消防団
動機章 寛豊景 石川正澄 上村
広光 佐野幸雄 小林登雄 三谷
功績章 高橋義繁 長野敏則 島
崎嘉綱 田中慎一 平石正宣 山
崎 太郎 小笠原盛 笹岡博 永

柚木・蔭に
子供会誕生

このほど西峯地区の柚木、蔭両
部落に子供会が誕生しました。
これは、両部落とも、農繁・閑
を問わず昼間の留守家庭が多く、
また通学路も地すべり地帯の危険
な山道でもあるので、子供たちが
安全で健やかな成長をとげるため
子供たち自身の手で力を合わせて
いくようにしようというおわらいか
ら、地区の児童委員、西峯小、中
学校、婦人会、PTA、部落長ら

の肝入りでつくられたものです。
柚木は小学生三十五人、中学生
二十一人。蔭は小学生十一人、中
学生六人です。
子供会運営は会則によって次の
ように決められています。
一条、この会は柚木子供会とい
います。
二条、この会は柚木部落の小中学
生でつくります。
三条、この会は、みんなが明るく
すこやかに成長するために助け
あひます。
四条、この会は次の役員をおきま
す。会長一、副会長二、会計一
書記一、班長三、副班長若干名
五条、この会に次の三つの班をお

きます。一班(おく番)、二班
(寄村)、三班(下村)
六条、この会は必要時に、次の
ような会を開きます。
総会(全員があつまる)
役員会(会長、副会長、班長、
会計、書記があつまる)
七条、この会の目的を果すために
次のようなことを行ないます。
イ、学校の往き帰りに気を付け
あひます。
ロ、いろいろな部落の行事に参
加します。
ハ、みんなが向上するために力
をいれ、指導者にむかって話
し合ひなどします。
ニ、水の事故をなくするために

大豊村園芸組合では、本年三月
に初出荷した大豊の昭和四十一年
産みかん市場別出荷実績をこのほ
どまとめ、かんきつ同志役員会に
報告しました。
これによりますと、総出荷量は
一万七千七十七キ、販売金額は八十
四万八千六百円となっております。
このうち一万一千四百キが名
古屋市場へ出荷されていますが、
個人売りも相当あったようです。
現在の栽培農家は百十五戸、約
三十畝、このうち生産があがって
いる園は約十八畝とみられています。
いづれも昭和三十七年頃植え
の幼木園であるため、生産も少量
ですが追々と実績を挙げると、同
志会では張り切っています。
写真は大田口農協での運果

初出荷
大豊のみかん
市場へ

第二十二回
国体旗リレー
九月二十六日(火)

学校体育行事
一学期の結果

大豊村園芸組合では、本年三月
に初出荷した大豊の昭和四十一年
産みかん市場別出荷実績をこのほ
どまとめ、かんきつ同志役員会に
報告しました。
これによりますと、総出荷量は
一万七千七十七キ、販売金額は八十
四万八千六百円となっております。
このうち一万一千四百キが名
古屋市場へ出荷されていますが、
個人売りも相当あったようです。
現在の栽培農家は百十五戸、約
三十畝、このうち生産があがって
いる園は約十八畝とみられています。
いづれも昭和三十七年頃植え
の幼木園であるため、生産も少量
ですが追々と実績を挙げると、同
志会では張り切っています。
写真は大田口農協での運果

大豊村園芸組合では、本年三月
に初出荷した大豊の昭和四十一年
産みかん市場別出荷実績をこのほ
どまとめ、かんきつ同志役員会に
報告しました。
これによりますと、総出荷量は
一万七千七十七キ、販売金額は八十
四万八千六百円となっております。
このうち一万一千四百キが名
古屋市場へ出荷されていますが、
個人売りも相当あったようです。
現在の栽培農家は百十五戸、約
三十畝、このうち生産があがって
いる園は約十八畝とみられています。
いづれも昭和三十七年頃植え
の幼木園であるため、生産も少量
ですが追々と実績を挙げると、同
志会では張り切っています。
写真は大田口農協での運果

大豊村園芸組合では、本年三月
に初出荷した大豊の昭和四十一年
産みかん市場別出荷実績をこのほ
どまとめ、かんきつ同志役員会に
報告しました。
これによりますと、総出荷量は
一万七千七十七キ、販売金額は八十
四万八千六百円となっております。
このうち一万一千四百キが名
古屋市場へ出荷されていますが、
個人売りも相当あったようです。
現在の栽培農家は百十五戸、約
三十畝、このうち生産があがって
いる園は約十八畝とみられています。
いづれも昭和三十七年頃植え
の幼木園であるため、生産も少量
ですが追々と実績を挙げると、同
志会では張り切っています。
写真は大田口農協での運果

Table with 2 columns: 年度春期の定期検診も八月末をもって終了しました。村民の皆さんの御理解と御協力により受診成績も次第に向上し受けない人が非常に少なくなりました。この検診により毎年五十人位の患者が発見されており受診率がよくなるにつれて重症の患者が少なくなっていることは誠に喜ばしいことでもあります。

Table with 2 columns: 本年度春期の定期検診も八月末をもって終了しました。村民の皆さんの御理解と御協力により受診成績も次第に向上し受けない人が非常に少なくなりました。この検診により毎年五十人位の患者が発見されており受診率がよくなるにつれて重症の患者が少なくなっていることは誠に喜ばしいことでもあります。

Table with 2 columns: 本年度春期の定期検診も八月末をもって終了しました。村民の皆さんの御理解と御協力により受診成績も次第に向上し受けない人が非常に少なくなりました。この検診により毎年五十人位の患者が発見されており受診率がよくなるにつれて重症の患者が少なくなっていることは誠に喜ばしいことでもあります。

Table with 2 columns: 本年度春期の定期検診も八月末をもって終了しました。村民の皆さんの御理解と御協力により受診成績も次第に向上し受けない人が非常に少なくなりました。この検診により毎年五十人位の患者が発見されており受診率がよくなるにつれて重症の患者が少なくなっていることは誠に喜ばしいことでもあります。

小津高口大々葛川松式穴穴穴和目磯尾谷谷川一三中刈中仁西佐上中黒東西舟大石西奥西東安東西
一人きびしく
つ三つそのまま入れておきます。
ます。

建物共済の掛金が安く なりました

大豊村農業共済組合

農業共済組合の建物共済は「より安い掛金、より高い補償」を目的として、農家だけを対象に行なっております。

木村のように、山の傾斜地に点在する農家では、万一火災が発生すれば、金銭は覚悟せねばなりません。こうした意味から考えれば山村の農家にこそ、建物共済は必要であると考えます。当組合の建物共済は、共済金額百万円に対して、一ヶ年間の掛金は二万円となり一層加入しやすくなりました。又、一棟の加入最高限度は、三百万円(他の保険に加入している場合は、それらの共済金額との合計額が三百万円)をこえず、且又、建物の時価額の範囲内で加入していただく事になり42年7月1日より

共済金額	掛金
10万円	200円
30	600
50	1,000
100	2,000
150	3,000
200	4,000
250	5,000
300	6,000



川で果てる

小笠原 清 浩

毎年、盆や彼岸がくるたびに、私は今更け親近者の事を憶う。妻でさえ、今年初盆を迎えたばかりで三人目である。

特に父母の事を憶う。母は、昭和十五年六月二十五日に亡くなった。父はずっと長生きして昭和二十五年五月に死んでいる。父のことは次に書くとして今はテーマに關係のある母のことだけ書こう。私が十四、五才の時(その時は

行政相談

無集配局の切手販売

赤塚さんの住む村には、無集配の特定郵便局が一局ありますが、土曜の午後や日曜、祭日が休みとなり村の人は、隣村の郵便切手類をわざわざ所まで切手を買いに行くことがしばしばあります。

家庭で造れる酒は十三種類

自家用として造つてよい酒

正規のしょうちゆう(二十度以上)に次の原料を混ぜて酒を造ることは許されています。

- さかなし ○またたび ○うめ
- みかん ○すもも ○いちご
- くこ ○にんにく ○みりん
- しそ ○くわ ○ぐみ ○ちぢみ

(税務署)

これは、この村の話ではありません

第10回 330才ソフトボール大会

10月10日(火)体育の日 於 中州グランド
参加要件
村内在住者で10月10日現在、満50才~39才5名、40才以上4名で編成し、合計年齢が330才以上になること。

せんが、このような話に限らず、役所でなんとかしてもらえないものかというような、疑問や不満などお持ちの方は、ご遠慮なく、行政監察局か最寄りの行政相談委員にお申し出下さい。

村の歴史 8

豊永郷の大庄屋と惣老

私の別なく、村落の円満向上につくしたものである。
註(当時の村というものは今の部落のことで古くは名ともいって、それで今の各部落に庄屋のあったところ、庄屋に代るもの名本があったところである。各部落の庄屋、名本の居た家は今もいて「お方」という屋号の家が多く、土居という格が上になつてきた。

慶長二年(一五九七)三月、当時の土佐の国主長宗我部元親の制定した、長宗我部百箇条をみると、「國中七郡の内、三人奉行相定むる上は彼の奉行の申付ける儀は諸事異議に及ぶべからざる事、付、在々所々に庄屋を相定置く上は万事難渡す処、毛頭綴に存すべからざる事」とある。長宗我部時代の組織は、中央に四家老を置きこれを五奉行を配し、各郡に奉行を三人置き、各村及び名に庄屋をおいて支配したものである。

長宗我部時代の庄屋は記録によると、「國中總數百七十四名内専任者百五十八名、兼任者十六名」であったようである。
この時代長宗我部氏の家老、奉行として名のあるものに、豊永藤五郎とゆう者があつた。当時は本山郷津家であるが、現在の大豊村津家の出で、長宗我部四家老に列し、また五奉行を兼ね「泰政事記」に

右衛門あり、実子右衛門までは豊永押え役として豊永郷の支配に當つた。
与右衛門の子五郎衛門豊政、寛文五年(一六六五)相續して大庄屋となつた。これが豊永大庄屋としての初代である。然るに同十二年五郎衛門御組入(お留守居組)となつたため、大庄屋は豊永元年(一六七三)弟藤太夫に仰付けられその子藤藏またこれをついで大平に住した。ついで寛永年中(一七四八~一七五〇)に至つて大砂子より長瀬五兵衛豊永大庄屋に任ぜられ下土居に住し、宝曆五年(一七五五)に至つて、山本伝次郎重信新改村より来て長瀬氏と替り、同じく下土居に住しこれより子孫世襲して重左衛門信之、源之進信保、柳之丞信利、実藏重運と都合五代を経、重運に至つて明治二年二月、南岐山郷大庄屋に所替となり、翌明治三年制度改革となり大庄屋は廃せられた。

大豊村商工会(役場前)では消費者のみならず、商品やサービスなどについての苦情を受けています。御気軽に御出ください。
住居をかえられた時は十四日以内に必ず役場に届けましょう。

おこわり 前号の集中豪雨の記事中、住居全壊し豊永武時、半壊し吉川登男、豊永昭美、桑名綾子の各氏(共に奥大田)が調査もれとなつていましたので追加のことわりします。
なんでも御気軽に御相談下さい。秘密厳守、無料
毎週火曜日 役場本庁
木曜日 東豊永支所
金曜日 西豊永支所
いずれも午前10時午後4時
大豊村社会福祉協議会(事務局は本庁住民課内)

編集後記
酷暑の候を過ぎ、残暑の候となりましたが、朝夕はともかく、まだまだ日中は暑いようです。暑さにはまいって、じゅうぶんな紙面づくりもできず申し訳ありません。
次号は山間農業試験場の試験結果が発表になります。御期待ください。
◆秋の秋、運動会の秋、稔りの秋、がんばりましょう。